

複数の障害種に対応した教育課程をどのように編成していくといいのでしょうか？

特別支援学校においては、従来からの障害の重度・重複化とともに、発達障害への対応、専門性の維持・継承・発展等が課題となっており、児童生徒個々の教育的ニーズに対応したきめ細やかな指導の充実が求められています。

また、学校教育法の改正に伴い、特別支援学校では、従来からの障害種に対応した教育とともに、複数の異なった障害種や教育的ニーズのある幼児児童生徒に対応することが可能となりました。これに伴い、各都道府県では、複数の障害に総合的に対応すべく特別支援学校の統合化を検討するなどの取組や試みが展開されています。

こうした特別支援教育を取り巻く動向や課題に対応するためには、学校運営上の工夫、教育課程編成の工夫、教育活動の評価等の工夫が必要です。

【研究の目的】

複数の障害種に対応した教育課程編成の工夫や幼・小学部から高等部までの一貫した教育課程の工夫について実際的な研究を進めることにより、特別支援学校における特別支援教育の充実に資することを目的としました。

【研究実施状況】

平成20年度は、特別支援学校における基本的な考え方や、教育課程編成・実施の推進に向けての取り組みを中心に進め、ワークショップ、研究協議会、実地調査からなる中間報告書を作成しました。

平成21年度は、研究スタッフを①学校グループ、②法制グループ、③海外調査グループの3グループに分け研究を推進しました。複数の障害種に対応した教育課程編成については、実地調査を主体として、研究協力機関との協働で実践内容を整理し取りまとめました。また、幼・小学部から高等部までの一貫した教育課程の工夫について検討しました。

さらに、研究協議会（年3回）及び講演会を開催するとともに、国内調査及び海外調査（英国）を実施し、情報資料等を集約し、これらを研究報告書に取りまとめました。

【研究結果】

複数の障害種に対応した教育課程編成上のメリットと課題が、以下のように整理されました。

メリット

課題

専門性に関すること

*多様なニーズに応える教育が可能

@障害種には対応できるが、障害の程度にどの位対応できるか疑問

*専門性の共有化と提供、分化

@障害に対する専門性の確保、教員の人事配置のバランスが難しい

*教育課程を編成及び運営していくために、学校としての組織化が発展的に進む

@教育課程編成に向けた学校組織の煩雑化、会議の増加

【研究結果（つづき）】

メリット

課題

地域のニーズや連携・交流に関すること

* 校内において様々な交流活動が期待できる

@ 学校行事の精選と新たなプログラムづくり

* 就学指導の円滑化、進路指導の充実

@ 多様な進路先に対応した進路指導を限られた人材で丁寧に行えるか

* 地域で暮らす障害のある子どもが、身近な学校で学べる

@ 学級編制、指導体制の工夫、設備やスクールバスの改造などが必要

学習集団に関すること

* 教育活動を通して障害への理解や自己理解が図られる

@ 子ども同士の障害理解、複数の障害についての保護者や地域の理解の徹底

* 多様な授業形態を構成できる

@ 安全の確保が難しいケースが生じる。教室(空間)の確保。

【関連情報】

本研究の研究成果報告書では、「複数の障害種に対応する教育課程編成」の実際として、以下の6つの研究協力機関における実践を紹介しています。

- (1) 知的障害者と肢体不自由者が共に学び合う教育課程の編成をめざして
－ 鹿児島県立出水養護学校－
- (2) 学部を基盤として、知的障害、肢体不自由、病弱への教育的支援のための教育課程
－ 福井県立南越養護学校－
- (3) 複数の障害種（聴覚障害、知的障害、病弱）に対応した合同学習及び専門性維持・向上の取組
－ 山口県立山口南総合支援学校－
- (4) 4障害に配慮した授業の工夫と専門性向上に資する授業改善の試み
－ 岩手県立一関清明支援学校－
- (5) 児童生徒の実態に合わせた合同学習の工夫
－ 徳島県立板野養護学校－
- (6) 地域制・総合制の特別支援学校における教育課程編成の工夫とそれを支える専門性
－ 京都市立北総合支援学校－

本リーフレットは、研究所で行った次の研究を基に作成しています。

【研究課題名（研究期間）】

重点推進研究「特別支援教育における教育課程の在り方に関する研究－複数の障害種への対応及び幼・小学部から高等部までの一貫した教育課程の工夫－」（平成20年度～平成21年度）

【研究代表者名】

千田耕基（教育支援部上席総括研究員）

【研究副代表／問い合わせ先】

原田公人（教育支援部総括研究員）、

e-mail harada@nise.go.jp



子ども・学校・家庭省（DCSF：ロンドン）